日本家庭科教育学会第57回大会プログラム

期日:2014年6月28日(土)~6月29日(日)

会場:岡山大学教育学部

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1 http://www.okayama-u.ac.jp/user/ed/Edu.html

大会事務局:佐藤園(大会実行委員長)

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1岡山大学教育学部

Tel&Fax:086-251-7679

E-mail:ssono@cc.okayama-u.ac.jp

日程

~19:30

	· . 									
6月28日(土)				6月29日(日)						
9:00~	受付			9:00~	受付					
	(データインストール6月28日分:各発表会場)					(データイン	⁄ストール6月	29日分:各発	表会場)	
		口頭研	究発表					口頭研	究発表	
9:30	第1会場	第2会場	第3会	湯	第4会場	9:30	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
$\sim 11:50$	5208	5206	5307	7	5304	9.30 ∼11:50	5208	5206	5307	5304
~11:50	A1-1 ~A1-7	A2-1 ~A2-7	A3-1 ~A3		A4-1 ~A4-6		B1−1 ~B1−6	B2-1 ~B2-7	B3−1 ~B3−6	B4-1 ~B4-6
11:50 ~13:00	昼 食				11:50 ~13:00	昼食				
13:00 ~13:30	ポスターフ	ポスタープレゼンテーション 課題研究 最終報告			13:00 ~13:30	ポスタープレゼンテーション			ョン	
-13.30	奇数番号(5102 教室) 5102 教室			-15.50	偶数番号(5102 教室)					
13:40 ~14:40	総 会 (5202 教室)			13:40 ラウンドテーブル 生きる力をそなえた子どもたな		フ 1シュ ユ_ チ				
講演会・シンポジウム 14:50 いま進んでいる教育改革と家庭科 ~17:15 一道徳的価値を改めて問うー (5202 教室)			~15:50	ーそれに	rcなえた- は家庭科教 室, 5206 教	育からー	教室)			
17:30 懇親会										

*6月27日(金) 15:00~17:00 理事会(5106 教室)

(会場:岡山大学生協)

17:00~19:00 地区会代表者会議(5106 教室)

目 次

研究発表	
口頭発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 9
課題研究最終報告(ポスター発表)・・	12
講演会・シンポジウム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
ラウンドテーブル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
懇親会のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
お知らせ 大会参加費・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 昼食について・・・・・・・・・・・・・・・・ 保育室について・・・・・・・・・・・ 宿泊等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15 15 15 16
研究発表をされる方への連絡事項 口頭研究発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16 17
岡山大学キャンパスマップ・・・・・・・・	18
会場配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
交通アクセス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20

研究発表

口頭発表 (発表番号のAは第1日目,Bは第2日目)

【6月28日】第1会場(5208教室)

【午前 9:30~10:30】座長:榊原 典子(京都教育大学)

A1-1	家庭特別でおける家族の授業の動向 - 家族の授業分析から -	愛知教育大学	○伊深	祥子
A1-2	小学生の高齢者イメージからみる - 世代間交流の在り方 -	上越教育大学	○得丸	定子
A1-3	保育学習と住環境学習を関連づけた 授業づくり - ふれあい体験を生かして -	さいたま市立本太中学校 香川大学教育学部 東京学芸大学教育学部 東京学芸大学附属高校 秋田大学教育文化学部	○金 妹 倉 阿 望 月	京子 理清 走 一枝
【午前 10	:30~11:50】座長:望月 一枝(日本	女子大学通信大学院)		
A1-4	幼児とのふれ合い体験での中学生の 行動変化について	東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科 (院生)	○叶内	茜
	- 学校生活に課題を抱えた生徒の事例を中心として -	東京学芸大学教育学部さいたま市立本太中学校	倉持 金子	清美 京子
A1-5	小学校におけるセクシュアリティ 教育の可能性 - 家庭科からのアプローチ -	千葉大学教育学研究科 (院生) 千葉大学教育学部	〇南 《 中山) お 節子
A1-6	家事分担から見る女子大生の性別役 割分業意識と家族関係	東京学芸大学教育学部	○藤田	智子
A1-7	ニューデリー日本人学校の家庭科指導 - 児童・生徒の家庭生活の実態調査 から -	東京学芸大学教育学部	○池﨑	喜美惠

【6月28日】第2会場(5206教室)

【午前 9:30~10:30】 座長: 角間 陽子(福島大学)

A2-1	「習得、活用、探究」を意図的・効果的に 組み入れた小学校家庭科内容Dの授業実践	埼玉県越谷市立荻島小 学校	○長曽	亜希子
A2-2	小学校家庭科における「身近な消費 生活と環境」の指導の実態と課題	米子市立啓成小学校 島根大学教育学部 島根大学教育学部附属 小学校	○荊尾 多々叙 竹吉	梨絵 内 道子 昭人
A2-3	生活場面で実践できる力の調査 - 消費生活・環境 -	三重大学教育学部 静岡大学教育学部 常葉大学教育学部 椙山女学園大学生活科学部 三重県伊賀市立島ヶ原小学校 三重大学教育学部州属中学校 元静岡大学	○ 吉小星室安吉吉 本川野 場岡原	敏裕洋子規吉崇子子美 子江恵
【午前 10):30~11:50】座長:吉本 敏子 (三重	大学)		
A2-4	選択する消費者から提案する消費者へ	愛知教育大学 愛知教育大学附属岡崎中学校	山田 ○芝田	綾 陽子
A2-5	高校家庭科におけるエシカル・ファッショ	お茶の水女子大学附属	○葭内	ありさ

ンを用いた消費者市民教育の授業実践 - IT と校外連携、他者への伝達を活用 した倫理的消費学習とその効果 -

高等学校

消費者としての自覚を高める衣生活 A2-6学習指導の工夫

- 言語活動の充実を通して -

広島県尾道市立向東中学校 ○堀川 多加子 広島大学大学院教育学研究科

村上 かおり 鈴木 明子

A2 - 7高等学校における消費者教育の実態 - 大学生のアンケート調査より -

鳴門教育大学大学院学校 ○中尾 早葵 教育研究科 (院生)

教育研究科

【6月28日】第3会場(5307教室)

【午前 9:30~10:30】座長:矢野 由起(滋賀大学)

A3-1	調理実習の教材改善の試み	福岡県立太宰府高等学校	○渡邉	智美
A3-2	高等学校家庭科食分野の題材配列の検討 学習意欲の喚起を目指して	横浜国立大学大学院 (院生)横浜国立大学教育人間科学部	○久保E 杉山	田 正芳 久仁子
A3-3	小学校家庭科における炊飯学習に 関する学びの実態	富士市立岩松中学校 埼玉大学	○望月 河村	朋子 美穂
【午前 10	0:30~11:50】座長:佐々木 貴子(北	海道教育大学)		
A3-4	家庭科における真正の活動の組織化の検討 - コラボレーション型授業に着目して -	横浜国立大学大学院教育学研究科 (院生)	○平野	泰行
A3-5	大学生の食生活管理能力の基礎的研究 大学生のミールカード利用者について	島根大学教育学部 島根大学教育学研究科(院 生)	多々糸 ○植田	内 道子 遥菜
A3-6	中学生の心の健康と食生活に関する研究 - 食に関する自己効力感の実態から -	埼玉県戸田市立笹目中学校 日本女子大学	○齋藤 内野	和可子 紀子
A3-7	中日都市部における中学生の食生活の実態	東京学芸大学大学院教育学研究科(院生)		 善
		東京学芸大学教育学部	池﨑	喜美惠

【6月28日】第4会場(5304教室)

【午前 9:30~10:30】座長:福井 典代(鳴門教育大学)

A4-1	染織日本の伝統と文化を学ぶ教材として の明治・大正期の輸出用キモノについて	広島大学大学院教育学研究科	○柴 静子
A4-2	ものづくりの精神を伝える家庭基礎 衣生活分野の授業 - 染織の日本の技を生かした海を 渡ったキモノから -	広島大学大学院教育学研究科 広島大学附属中・高等学校 広島大学附属中・高等学校 広島大学附属福山中・高 等学校	柴 静子 日浦 美智代 一之瀬 孝恵 ○高橋 美与子
A4-3	生活文化力を培う中学校家庭科授業の創造	広島大学附属東雲中学校 広島大学附属東雲中学校 広島大学大学院教育学研究科	○浦上 千歳 増田 恭子 柴 静子
【午前 10	0:30~11:30】座長:川邊 淳子(北海	道教育大学)	
A4-4	中学生の洗剤・漂白剤・柔軟剤の選 択に関する実態と課題	東京学芸大学大学院教育学研究科(院生)	○菊地 英明
	八に関うる大阪と「小区	東京学芸大学教育学部	生野 晴美
A4-5	小学校家庭科衣生活内容「洗濯」の 教材化 - 「手洗い」を混同しないために -	和歌山大学教育学部 和歌山大学教育学部 大阪教育大学教育学部	○今村 律子赤松 純子山田 由佳子

				京者
A4-6	小中学校家庭科 る知識調査	「洗う」	学習に関す	兵 教育

大阪教育大学教育学部 山田 由佳子 兵庫教育大学大学院学 潮田 ひとみ 校教育研究科 滋賀大学教育学部 與倉 弘子 都教育大学教育学部 深沢 太香子 庫教育大学大学院学校 ○潮田 ひとみ 育研究科 和歌山大学教育学部 今村 律子 和歌山大学教育学部 赤松 純子 滋賀大学教育学部 與倉 弘子 京都教育大学教育学部 深沢 太香子 大阪教育大学教育学部 山田 由佳子

【6月29日】第1会場(5208教室)

【午前 9:30~10:30】座長: 永田 智子(兵庫教育大学)

B1-1	京都府立高等学校男女共修家庭科実 践史研究3 - 到達目標の作成について -	京都教育大学教育学部京都教育大学大学院(院生)京都教育大学教育学部(非常勤)	井上 ○仲野 田中	えり子 由美 任代
B1-2	女子必修家庭科の再検討	埼玉大学大学院教育学 研究科(院生)	○望月	遥
B1-3	高校家庭科男女必修 20 年の検証 - 関東地区 4 都県の教育課程調査を 通して -	茨城大学教育学部 愛国学園短期大学 文教大学教育学部(非) 東京都立忍岡高等学校 神奈川県総合教育センター 教職キャリア科 千葉県立鎌ケ谷高等学校 千葉県立千葉東高等学校 三輪田学園中学校高等学校	○ 野亀新荒荒 石真高中井山井井 島田橋	美佑みき智 恵知礼津子つよ子 美恵子
【午前 10	:30~11:30】座長:財津 庸子(大分	大学)		
B1-4	1970 年代の家庭科教育理論書にみる教育課程編成案の形成	埼玉大学教育学部 東京都市大学付属中学校・ 高等学校(非)	○瀬川	朗
		埼玉大学教育学部	河村	美穂
B1-5	デンマーク国民学校の教科「手工と デザイン」について	聖カタリナ大学短期大学部	〇一色	玲子
B1-6	小学校における家庭科を基盤とした 学校カリキュラムの開発と成果	横浜国立大学教育人間科学部	○堀内	かおる

【6月29日】第2会場(5206教室)

【午前 9:30~10:30】座長:伊深 祥子(愛知教育大学)

B2-1	まつり縫いの確実な習得を目指した 指導	東京学芸大学大学院教育学研究科(院生)	〇山本	夏帆
		杉並区立向陽中学校 東京学芸大学教育学部	寶達鳴海	佑美 多恵子
B2-2	衣服の着心地に関わる教育プログラム の開発をめざした研究	横浜国立大学大学院教育学研究科 (院生)	○中田	いずみ
		横浜国立大学教育人間科学部	薩本	弥生
B2-3	家庭科着用学習に対する教員及び生徒 の意識	広島大学大学院教育学研究科 (院生)	○下窪	美咲
	- 中学生の個性の表現に着目して -	広島大学大学院教育学研究科 広島大学大学院教育学研究科	村上 鈴木	かおり 明子
【午前 10	:30~11:50】座長:多々納 道子(島	根大学)		
B2-4	小学校5年生における献立学習の検討 - 料理のアレンジから広がる献立 イメージ -	千葉大学教育学部附属小学校 千葉大学教育学部	○佐藤 石井	雅子 克枝
B2-5	小学校家庭科献立学習のための教科 書教材のあり方	愛媛大学教育学部	○宇高	順子
B2-6	栄養に関する概念的知識の検討	埼玉大学大学院教育学研究科 (院生)	○安藤	紀子
		埼玉大学教育学部	河村	美穂
B2-7	イングランドの「デザインと技術」の 新ナショナル・カリキュラム - 初等・中等学校における「調理と栄養」 の必修化 -	女子栄養大学栄養学部	○井元	りえ

【6月29日】第3会場(5307教室) 【午前9:30~10:30】座長: 菊地 るみ子(高知大学)

B3-1	授業「学校を設計しよう」における 生徒の協働と思考の深まり - 問題解決プロセスにおいて解決案 の練り上げを可能にする授業方略 -	福井大学教育地域科学部 福井大学教育地域科学部 附属中学校 福井大学大学院教育学研究科 (院生)	〇荒井 佐藤 清水	紀子 恵美 美歩蕗
B3-2	防災の視点を取り入れた中学校技術・ 家庭科(家庭分野)の教材開発 - 開発教材の有効性の検討 -	鹿児島大学 鹿児島大学教育学部附属教育 実践総合センター研究協力員 鳴門教育大学	〇黒光 徳重 速水	貴峰 礼美 多佳子
B3-3	ICT 活用によるスマートホームを 生徒に伝える授業実践の試み	埼玉大学教育学部 埼玉大学教育学部 お茶の水女子大学附属高等 学校 JR東海情報システム (株)	○亀﨑 川端 葭内 伊藤	美苗 博子 ありさ 大河
【午前 10	:30~11:30】座長:得丸 定子(上越	教育大学)		
B3-4	家庭科における教育の情報化に対応 した住居領域の指導	鳴門教育大学大学院学校教育 研究科	○速水	多佳子
B3-5	「社会人基礎力」育成を図る高等学校 家庭科専門教育のカリキュラムの検討 - 教師,生徒の実態調査から -	広島大学大学院教育学研究科 (院生) 広島大学大学院教育学研究科	○京極 鈴木	周子 明子
B3-6	高等学校家庭科における社会形成能力 を育成するカリキュラムの開発 - 地域の教育資源の活用を通して -	広島県立沼南高等学校広島大学大学院教育学研究科	〇段吉 鈴木	真由美 明子

【6月29日】第4会場(5304教室)

【午前9:30~10:30】座長:中西 雪夫(佐賀大学)

B4-1	家庭科学習に伴う児童の意識変容に 関する考察	横浜国立大学大学院教育学研究科(院生)	○小笠原	京 由紀
	- 学習マスター度に着目して・	横浜国立大学教育人間科学部	堀内	かおる
B4-2	家庭での家事経験が家庭科を学ぶ意 欲に与える影響についての検討	宇都宮共和大学子ども 生活学部	○蟹江	教子
B4-3	母親の子育て観と家庭科学習内容に 対する意識との関係	広島大学大学院教育学研究科 (院生)	○梶山	曜子
	VI) SUMME AND IN	広島大学大学院教育学研究科	鈴木	明子
【午前 10):30~11:30】座長:小島 郷子(高知	大学)		
B4-4	高等学校における家庭科教育の意義 - 家庭科と家庭生活に対する意識調	東京学芸大学大学院連合学校 教育学研究科 (院生)	○土屋	善和
	査からの考察 -	横浜国立大学教育人間科学部	堀内	かおる
B4-5	中等教員養成課程における異教科間対面 - 式交流がもたらす学生の家庭科観の変	広島大学大学院教育学研究科 (院生)	〇森 ヨ	
	容-	広島大学大学院教育学研究科	鈴木	明子
B4-6	熟達教師による家庭科授業の再構成の分析 - 学習過程や教授力略の視点から -	新潟大学教育学部	○高木	幸子

ポスター発表 (5102 教室)

掲示期間:6月28日9:00~6月29日15:50

プレゼンテーション

奇数番号 6月28日 13:00~13:30 偶数番号 6月29日 13:00~13:30

P01	子どものしつけ・虐待と家庭科教育 - 教員養成課程の大学生調査から -	高知大学教育学部 岡山大学大学院教育学研究科 昌原文星大学福祉学部	• •	美佐 景媛 頁玉
P02	学童保育における生活実態を踏まえた小学校 - 家庭科学習指導計画のあり方に関する研究 -	平安女学院大学子ども学部	○松本	歩子
P03	みそ汁作りを中心とする幼小中交流活動 において中学生と幼児はいかに関わるか	金沢大学学校教育系 金沢大学学校教育系 金沢大学学校教育系	○滝口 綿引 尾島	圭子 伴子 恭子
P04	形成的評価としての「人生すごろく」 - 生徒の作品分析から -	兵庫教育大学教職大学院 (院生)	○中村	真理子
	1. C. A. L.	兵庫教育大学教職大学院	永田	智子
P05	一般教育科目における弁当調理課題 の検討	広島大学生物圏科学研究科 (院生)	○海切	弘子
	· 27天印	安田女子大学家政学部	鳥井	葉子
P06	食生活の向上をめざした調理実習の 学習指導方法	安田女子大学家政学研究科 (院生)	○西部	友理
P07	中学校の家庭科授業および家庭学習 による包丁技能の習得	埼玉大学教育学部 埼玉大学教育学部(学部生) 葛飾区立新宿中学校	○河村 山地 松岡	美穂 瑞紀 文子
P08	小学校中学年における家庭科教育の検討 - 包丁使用体験に着目して -	福島大学人間発達文化研究科(院生)	山岸	朋子
		福島大学人間発達文化学類	○浜島	京子

P09	大学の調理実習における問題解決的な取り組みに関する研究 - 学びの変容の観点から -	就実短期大学	○畦 3	五月
P10	中学校「技術・家庭科」における栽培と調理実習の連携授業の実践	京都教育大学大学院教育学研究科(院生)	○中須	晴南
	- 連携に適した野菜の選定及び万願寺 とうがらしを用いた教材の提案 -	京都教育大学家政科 京都教育大学家政科	湯川 中西	夏子 洋子
P11	市民と大学生を対象とした食生活内容 の"有用性"と"期待"	山梨大学教育人間科学部 弘前大学教育学部 愛知教育大学教育学部	〇志村 日景 青木	結美 弥生 香保里
P12	小学生の調理用語に関する知識の実態	広島大学大学院教育学研究科 広島大学大学院教育学研究科	〇望月 伊藤	てる代 圭子
P13	市民と大学生を対象とした衣生活内容 の"有用性"と"期待"	愛知教育大学教育学部 弘前大学教育学部 山梨大学教育人間科学部	○青木 日景 志村	香保里 弥生 結美
P14	バイレック法による正確で簡便な吸 水速度測定法の検討	弘前大学教育学部 北海道教育大学釧路校 神戸女子短期大学 弘前大学教育学部	安川 〇小野 古田 日景	あけみ 恭子 貴美子 弥生
P15	家庭科の製作体験と生活実践力に関 する大学生の実態調査	安田女子大学 広島大学大学院教育学研究科	〇大下 鈴木	市子 明子
P16	小学校家庭科における「ミシン縫い による製作」授業の検討	広島大学大学院教育学研究科 (院生)	小林	歩
	- 「ミシン縫い技能」習得の認知プロセスを用いて -	広島大学大学院教育学研究科	○伊藤	圭子
P17	小中高の発達段階における家族との 関わり方と住まい方に関する一考察	北海道教育大学旭川校	○川邊	淳子
P18	小学校家庭科における活用力の具体 化に係る実践的検討 - 内容のまとまり C における自然力 の活用を視点として -	岩手大学教育学部 岩手大学教育学部	〇長澤 渡瀬	由喜子 典子
P19	中学・高等学校家庭科「住生活領域」 の研究動向分析	埼玉大学大学院教育学研究科 (院生)	○西村	孝則
	- 017 - 017 - 177 - 1 1	埼玉大学教育学部	亀崎	美苗
P20	家庭科にみられるエネルギー環境教育	京都教育大学教育学部 京都府宇治市立宇治小学校	榊原 ○平野	典子 江美

P21	食器洗浄時の節水行動を通した省エ ネ行動変容の可能性	新渡戸文化短期大学 新渡戸文化短期大学 東京ガス株式会社 東京家政大学	○荒木 笹原 三神 長尾	葉子 麻子 影子
P22	中学校家庭科における「豆腐の選択」 に関する授業研究	信州大学教育学部	○松岡	英子
P23	高等学校家庭科における消費者教育 に関する授業実践 - 階層構造分析法を用いた野菜の購 入意識の変化について -	愛媛大学附属高等学校 鳴門教育大学大学院学校教育 研究科	○皆川 福井	勝子典代
P24	消費者教育の教材開発 - 「インターネットでひろがる消費 文化」の冊子教材 -	大阪教育大学 大阪教育大学 福岡教育大学	○大本 鈴木 奥谷	久美子 真由子 めぐみ
P25	空間的要素を取り入れた高校生向き キャリア教育の検討 - グループ討議を生かして -	信州大学教育学部	○福田	典子
P26	高等学校家庭科における「ユニバーサルデザインのまちづくり」授業モデルの道徳出こついての理論的考察 - UD拠点紹介デジタル絵本作りをとおして -	明石市立明石商業高等学校	○牧田	利枝
P27	振り返り「カルタ」にみる家庭科学 習の定着度	大分市立鴛野小学校	○石川	芳惠
P28	小学校家庭科における活用力の具体 化に係る実践的検討 - 児童の交流・相互評価を通した課 題の振り返り -	岩手大学教育学部 岩手大学教育学部	○渡瀬 長澤	典子 由喜子
P29	生活の体系的理解を促すトピックの検討 - 生活行為の要因の視点から -	東京家政大学	○青木	幸子
P30	大学生の自立に関する研究 - 日本とスウェーデンの比較調査よ り -	埼玉大学大学院教育学研究科 (院生) 埼玉大学教育学部	○長 河村	石実 美穂
P31	既婚男性の「家族・家庭生活」に対する家庭科教育効果の認識 - 履修タイプによる比較 -	鳴門教育大学大学院学校教育 研究科	○黒川	衣代
		新潟大学教育学部 脚児島県立短期大学生活科学科	高橋 倉元	桂子 綾子
P32	家庭科教員の専門性の発達	群馬大学教育学部	○小林	陽子

P33 中学校家庭科教員免許「あり」「なし」

教員による中学生への影響

弘前大学教育学部 愛知教育大学教育学部 山梨大学教育人間科学部 ○日景 弥生 青木 香保里 志村 結美

小学校家庭科教育研究指定校の教員 P34

が抱える不安

兵庫教育大学大学院学校教育 ()永田 智子

学研究科

兵庫教育大学学校教育学部 鈴木 千春

(非)

課題研究最終報告 (ポスター発表 5102 教室)

掲示期間 6月28日 9:00~6月29日 15:50

プレゼンテーション 6月28日 13:00~13:30

職場体験を活用した中学校家庭科授 課題1

業用プログラムの実践と検証

ESD としての家庭科教育の可能性と 課題2

役割

帝京学園短期大学 大阪市立大学(院生) 江東区立南砂中学校 文教大学

香川大学教育学部 聖心女子大学文学部 茨城大学教育学部 女子栄養大学栄養学部 桐朋中・高等学校(非) 静岡大学教育学部附属 浜松中学校

郡山女子大学家政学部 山梨大学教育人間科学部 東京大学教育学部附属

中等教育学校

京都服飾文化研究財団

〇石山 ゐづ美

三沢 徳枝 長山 知由理

松田 典子

○妹尾 理子 西原 直枝

> 佐藤 裕紀子 井元 りえ

大矢 英世

加賀 恵子

佐藤 典子 志村 結美

楢府 暢子

新實 五穂

講演・シンポジウム

6月28日(土)14:50 ~ 17:15 講義棟2階5202(大講義室)

テーマ:いま進んでいる教育改革と家庭科-道徳的価値を改めて問う-

趣旨

教育再生実行会議における 2013 年 2 月の第一次提言を踏まえて,文部科学省では道徳教育の充実に関する懇談会を設置し,道徳の特性を踏まえた新たな枠組みによる教科化の在り方など,道徳教育の改善・充実方策を検討してきました。本年 2 月には中央教育審議会に「道徳に係る教育課程の改善等について」が諮問されました。これにより,道徳教育が学校教育活動全体の中核としての役割を果たせるよう,道徳の時間の教科化が目指されています。そこで,本講演とシンポジウムでは,「いま進んでいる教育改革と家庭科」というテーマのもとに,家庭科教育が道徳教育とどのようにかかわれるのか,あるいはかかわったらよいのかを考えていきたいと思います。

基調講演

生き方の転換とホームの再定義—ガイドとしての道徳・倫理 松下良平 氏 (金沢大学人間社会研究域学校教育系 教 授)

講師プロフィール

1959 年, 鹿児島県生まれ。1987 年 京都大学大学院教育学研究科博士後期課程学修認定退学。1987 年 日本デューイ学会研究奨励賞受賞。2002 年 博士(教育学)(京都大学)。現在,金沢大学人間社会学域学校教育学類・大学院人間社会環境研究科教授,大学院教育学研究科長。日本教育学会理事,教育哲学会理事,教育思想史学会理事,日本デューイ学会理事。著書:『道徳教育はホントに道徳的か? - 「生きづらさ」の背景を探る一』日本図書センター(2011年),『道徳の伝達ーモダンとポストモダンを超えて』日本図書センター(2004年),『知ることのカー心情主義の道徳教育を超えて』勁草書房(2002年)など。

シンポジウム

シンポジスト 藤田 和美 氏(小平市立第十一小学校主任教諭) 國本 洋美 氏(広島県立広島井口高等学校教諭)

コーディネーター 綿引 伴子 氏(金沢大学)

ラウンドテーブル

6月 29 日(日)13:40~15:50 講義棟 5208·5206·5307 教室

テーマ:生きる力をそなえた子どもたち ーそれは家庭科教育からー

趣旨

これまで家庭科は、未来に向けて生活を創造する自立した生活者を育むことを目指してきました。現代社会にみられる様々な課題は、生活者としての自立や共生を可能にする「生活力」の低下によるところが大きいと考えられます。この「生活力」の見直しこそ「生きる力」の再生につながります。

本ラウンドテーブルでは、テーマを「生きる力をそなえた子どもたちーそれは家庭科教育からー」とし、「生活力」の育成につながる家庭科授業の提案と理論をふまえた検討を通して、「生きる力」を根底から支える家庭科教育の在り方を問い直し、発信への糸口を探ります。そして、今日求められている教育課題に家庭科はどのように応えればよいのか、改めて学びの可能性を探りたいと思います。

RT1:家庭科で家族をどう教えるか(5208 教室)

話題提供者 竹吉 昭人氏 (島根大学附属小学校教諭)

藤井 志保 氏 (広島大学附属三原中学校教諭)

コーディネーター 宮里 智恵氏 (くらしき作陽大学)

RT2:生活実践力を育成する家庭科の授業開発(5206 教室)

話題提供者 篠田 希美氏 (山口大学附属光小学校教諭)

児玉 智美氏 (広島県立大竹高等学校教諭)

コーディネーター 西 敦子氏 (山口大学)

RT3:ESDとしての家庭科教育の可能性と役割(5307 教室)

話題提供者 信清 亜希子氏 (岡山大学教育学部附属小学校教論)

奥村 直美 氏 (鳥取大学附属中学校教諭)

コーディネーター 福田 恵子 氏 (鳥取大学)

懇親会のご案内

日時: 6月28日(土) 17:30~19:30

会場 : 岡山大学生協

会費 : 3,500円

岡山の美味しい料理と飲み物をお楽しみ下さい!

(懇親会場は、岡山大学キャンパスマップをご覧ください)

お知らせ

●大会参加費 正 会 員 5,000円(当日は6,000円)

学生会員 3,000円(当日は3,500円)

非 会 員 6,000円

学生非会員 3,500 円

非会員の1日参加費 2,500円(要旨集別売り 1,000円)

*「講演会・シンポジウム」のみの参加は無料です。

●昼食について

弁当(800 円お茶付き)を希望される方は、事前にお申し込み下さい。昼食時間に受付でお渡しします。また当日、生協食堂を利用することもできます。

●保育室について

大会期間中,ご希望の方は保育室の利用が可能です。

開設時間は,6月28日(土)9:00-17:20,29日(日)9:00-16:00。

お預かりできるお子様の年齢は、基本的に生後3ヶ月から小学校就学前までです。

利用料金は、無料です(岡山観光コンベンション協会 託児サービス助成による)。別途 一日当たり数十円の保険に加入していただきます。

ご希望の方は、6月1日(日)までに、下記の事項を記したメールを、

sw20@okayama-u.ac.jp(第57回大会実行委員:篠原)まで送信してください。

なお、メールの件名欄に、「保育室利用申込」と明記して下さい。

確認がとれた場合には、2日以内にメールでその旨返信致します。

もし、2日以内に返信の無い場合には、もう一度メールを送り直して下さい。

記載事項は以下の通りです。

- 1. 利用者(保護者)氏名•連絡先
- 2. お子様の氏名, 性別, 年齢
- 3. 保育室利用予定日時
- 4. おやつや粉ミルク、湯等の持ち込みの有無
- 5. 特別な配慮が必要な場合、その内容

●宿泊等について

お早めにスケジュールにあわせて、各々で確保していただきますようお願い致します。

研究発表をされる方への連絡事項

【口頭研究発表】

- 1. 口頭研究発表のための資料は、パワーポイントおよび印刷物とします。
- 2. パワーポイントをご使用になられる方へ
 - ①各発表会場に用意するパソコンソフトは、Windows 版 PowerPoint2013 です。
 - ②ファイル名は次のようにして下さい。

半角文字で発表番号,全角で発表者名の順(例:A1-1 佐藤)

③ファイルは、ウィルスチェックをすませた USB フラッシュメモリに保存してご持参いただき、 以下のように、各自でパソコンにコピーしてください。

1日目発表:6月28日(土) 9:00~ 9:20(各発表会場において)

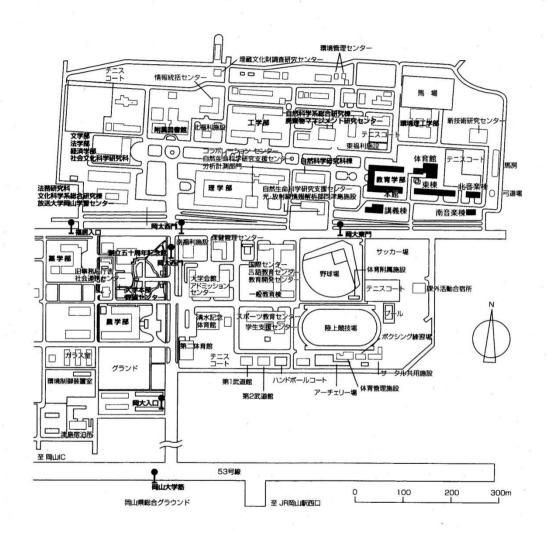
2日目発表:6月29日(日) 9:00~ 9:20(各発表会場において)

- ④パワーポイントの操作は発表者が行って下さい。
- ⑤パソコンにコピーしたファイルは、大会終了日に消去します。
- 3. 配付資料は、<u>発表番号と氏名を明記し、必ず 100 部用意して、当日早めに各発表会場内の</u> 資料置き場にご提出ください。
- 4. パワーポイントを使用される場合でも、機器に不具合が生じた時のために、印刷物を 100 部ご 用意ください。
- 5. 口頭発表の時間は15分、質疑応答の時間は5分です。質疑のない場合は20分まで発表できます。この時間には、資料配付等も含んでいます。発表時間が厳守されないとスケジュールが乱れますから、 是非ご協力をお願いいたします。
- 6. 口頭発表開始13分後に1鈴、15分後に第2鈴、20分後に第3鈴をもって終了の合図とします。
- 7. 発表中止の場合は、できるだけ早めに、大会前の場合は学会事務局へ連絡ください。大会当日は、会場では電話受付できませんので、大会に参加する方に連絡をとるなどして、大会実行委員会事務局にお知らせいただけるようにお願いします。発表中止があった場合でも、その後の口頭発表時間の繰り上げはいたしません。

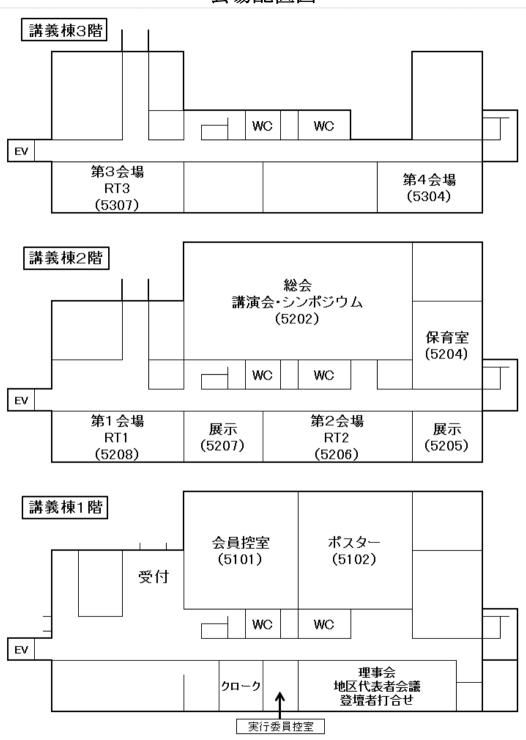
【ポスター研究発表】

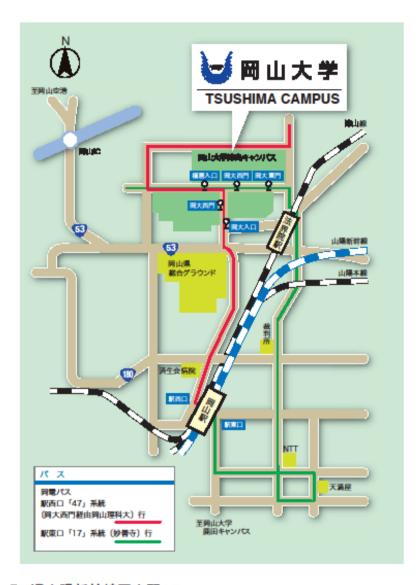
- 1. ポスターは、1発表につき、ヨコ90cm×タテ210cm まで掲示可能です。
- 2. 指定されたポスター発表番号場所に、発表番号・演題目・所属・氏名・説明文・図・表・写真など、 自由にレイアウトしてください。
- 3. ポスターの掲示期間は,6月28日(土)9:00~6月29日(日)15:50です。 掲示は,6月28日(土)9:00から行えます。
- 4. 発表者は、ポスタープレゼンテーション時間帯には必ずポスター傍に待機してください。 奇数番号プレゼンテーションは、6月28日(土)13:00~13:30 偶数番号プレゼンテーションは、6月29日(日)13:00~13:30
- 5. ポスターは、備え付けの画鋲で貼付してください。
- 6. ポスターの撤収は、6月29日(日)16:00までに、各自で行ってください。

津島キャンパス建物配置図



会場配置図





JR山陽新幹線岡山駅より

〇東口岡電バス4番乗り場17系統 「岡山大学 妙善寺行」 20分 「岡大東門」下車 (料金/220円)徒歩1分

〇西口岡電バス「駅西口~岡大・理大口行」15分

「岡大西門」下車(料金/190円)徒歩8分

〇西口からタクシー 10分

「津島キャンパス東門」下車(料金/およそ1,100円) 徒歩1分

- JR津山線法界院駅より 徒歩10分
- 岡山空港より

〇「岡山駅行」リムジンバス 25分 「岡山大学筋」下車(料金/660円) 徒歩15分